



ライブ講師®実践会 定例セミナー M

(ZOOM・ミーティング形式)

基本【第13回】2020年12月6日(日)

オンライン化がもたらした 教え方・学び方の変化

2020年を振り返り、
2021年の方針を決めましょう
(12月のテーマ)



今日の内容

●時間 14時～16時 +懇親会

●ゴール

オンライン化によって、

「教え方・学び方」が、どのように変わったか？

あなた自身のビジネスが、どのように変わったか？

について、2020年をふりかえり、
2021年に向けての方針を決める。

●進め方

・寺沢からの問題提起

・意見交換

ある会社の場合・・・

オンライン化は、さまざまな対象でメリットを生み出す可能性があります。

メリット	社員にとって	企業にとって	お客様にとって	社会にとって
【空間】 働く場所の 制約から 解放される	<ul style="list-style-type: none">●多様な生活環境(育児、介護など)に対応できる●個人作業に集中できる	<ul style="list-style-type: none">●多様な人材が活用できる●オフィスコストが削減できる●災害時のBCP	<ul style="list-style-type: none">●接触頻度を増やすことができる 	<ul style="list-style-type: none">●だれでもが働く機会をもてる社会が実現する
【時間】 移動時間が 削減される	<ul style="list-style-type: none">●通勤地獄から解放される●厳しい気象環境(雪など)でも安全	<ul style="list-style-type: none">●通勤費が削減できる●業務全体の生産性が向上する	<ul style="list-style-type: none">●気軽に問い合わせ、相談することができる	<ul style="list-style-type: none">●渋滞緩和が図られる
【マネジメント】 旧来型 からの脱皮	<ul style="list-style-type: none">●漠然と出社する事がなくなる●セルフマネジメントスキルが向上する	<ul style="list-style-type: none">●ペーパーレスが進む●自発的なマネジメントが確立できる	<ul style="list-style-type: none">●効率的に時間を使える●新しい提案が受けられる	<ul style="list-style-type: none">●高齢化社会における労働力確保が図られる

() だったら・・・

オンライン化のメリットを、自身の例で考えてみましょう。

メリット	講師にとって	参加者にとって	パートナーにとって	社会にとって

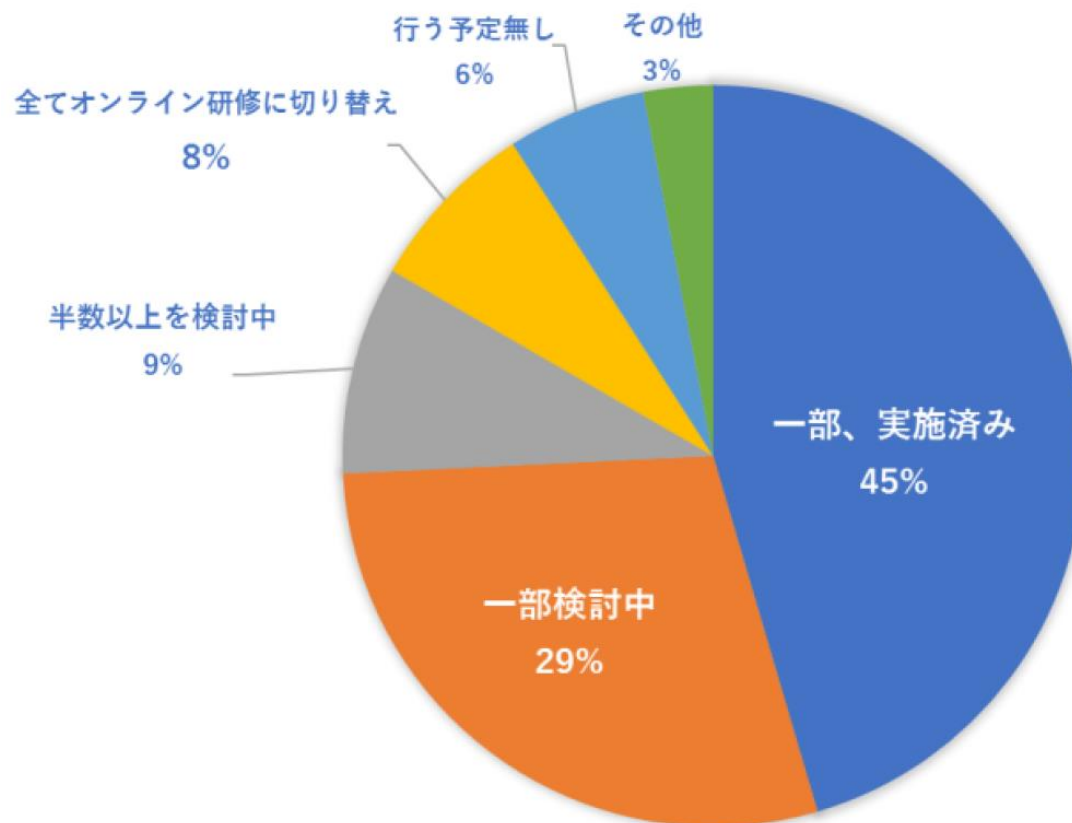
オンライン化に関するアンケート結果 2020年夏

※2020/7/30～8/18 『Learning Design』編集部調べ
回答者数(n)=66

オンライン化に関するアンケート①

【Q】「研修オンライン化」について取り組み段階は？

「一部検討中」から「一部実施済み」が3/4

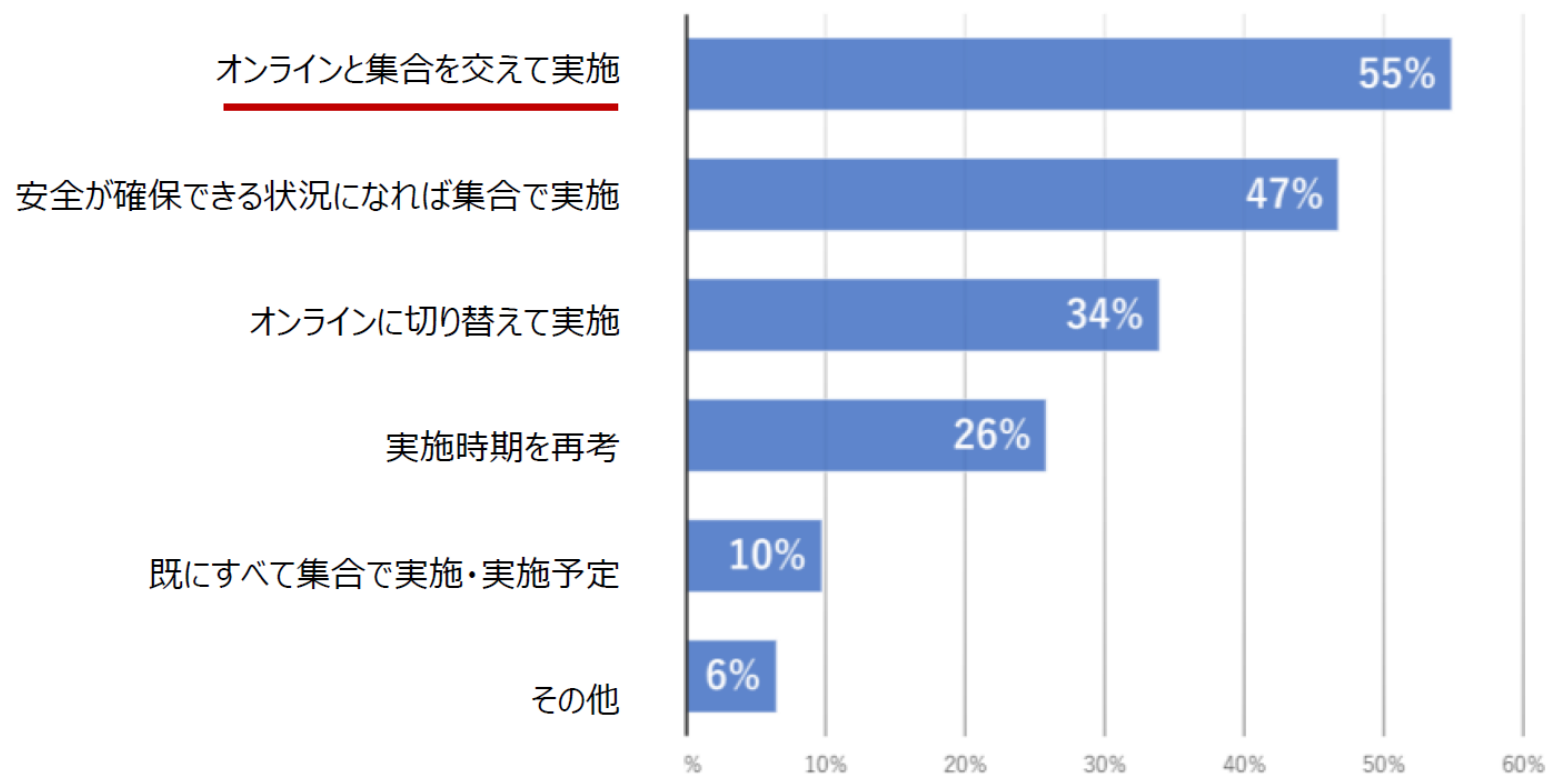


※2020/7/30～8/18 『Learning Design』編集部調べ
回答者数(n)=66

オンライン化に関するアンケート②

【Q】 年内の研修についてあてはまるものは？(複数回答)

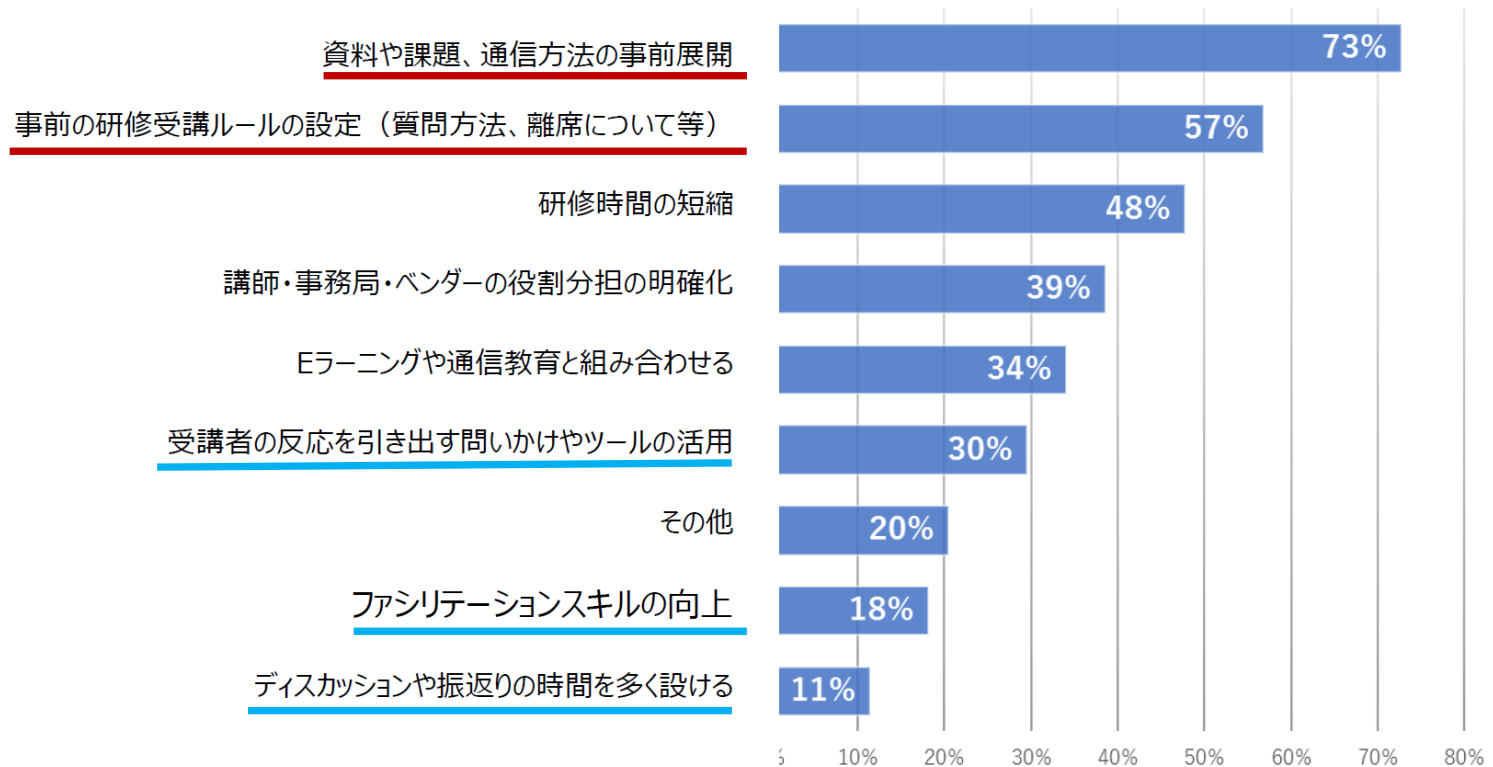
「オンラインと集合を交えて」がトップ



オンライン化に関するアンケート③

【Q】オンライン化にあたって工夫したことは？(複数回答)

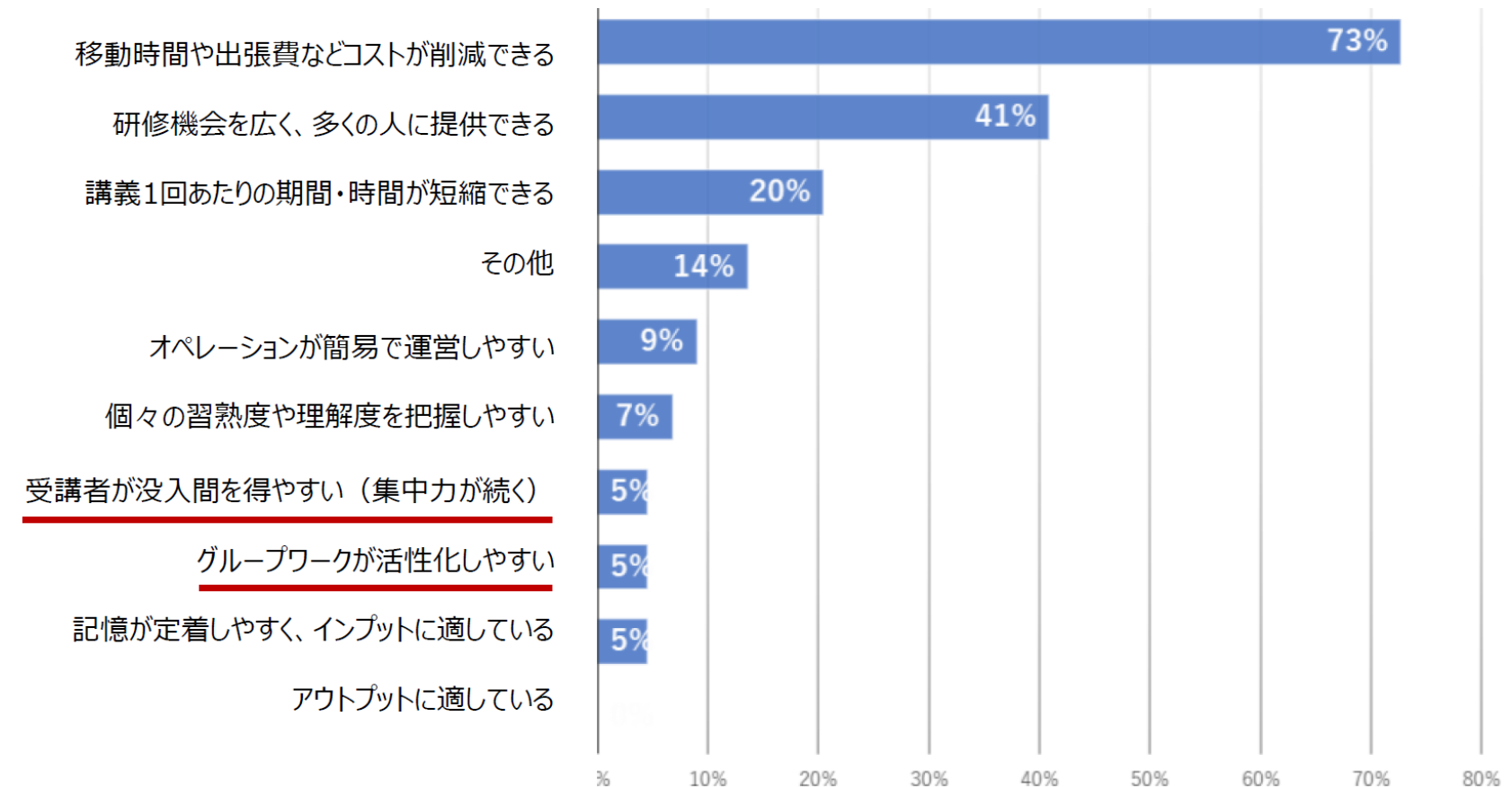
まずは、事前準備。場づくりはこれから



オンライン化に関するアンケート④

【Q】 オンラインで実施してみた感じたメリットは？（複数回答）

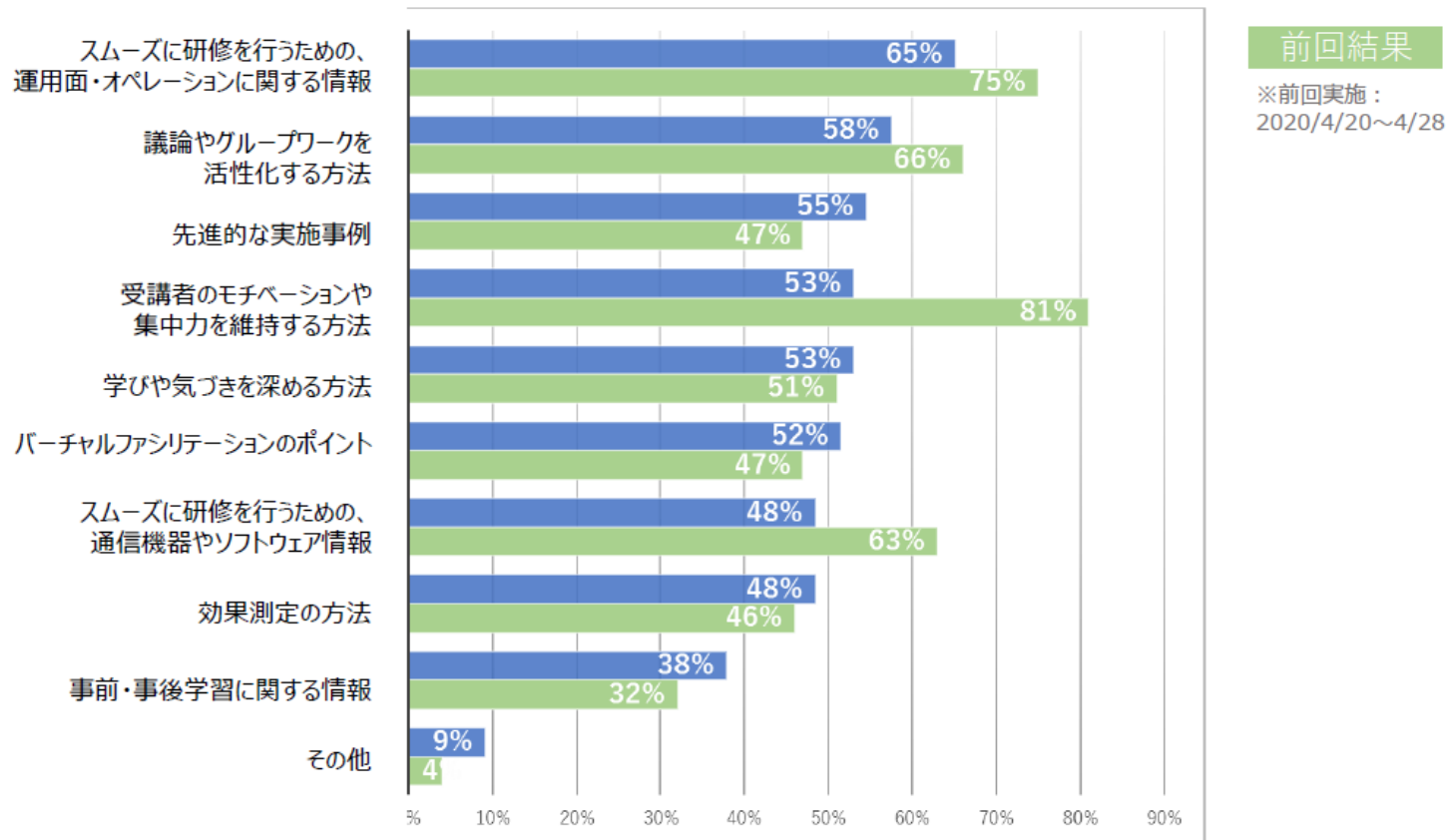
意外と集中、グループワークは活性化



オンライン化に関するアンケート⑤

【Q】 お困りごとや、求めている情報は？（複数回答）

導入時より落ち着いてきている



ようこそ！

問題解決力

のジャングルへ

予告編 準備体操

事業統轄コース 事前案内

公益財団法人 日本生産性本部
主席経営コンサルタント 寺沢俊哉



反転学習形式

事前学習

個人で理解して
自分なりの見解
をまとめる



シートワーク

当日議論

他の人との対話
を通じて、お互い
が学びを深める



問題解決力のゴールは・・・

「問題」とはそもそも何か、論理思考をはじめとする問題解決法を一通り理解する。

～ロジカルシンキング

受け取る(聴く、読む)、届ける(話す・書く)といった対話の基本スキルを磨き上げる。

～コーチング・プレゼンテーション

自発性、創造性を引き出すような会議や学びの場を企画進行するスキルを身につける。

～ファシリテーション

ロジカルシンキング

「問題」とはそもそも何か、論理思考をはじめとする問題解決法を一通り理解する。

～ロジカルシンキング

受け取る(聴く、読む)、届ける(話す・書く)といった対話の基本スキルを磨き上げる。

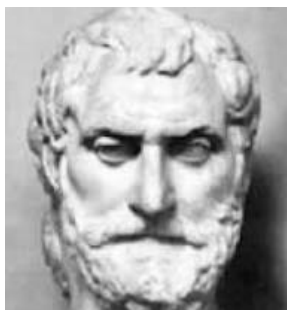
～コーチング・プレゼンテーション

自発性、創造性を引き出すような会議の場を企画進行するスキルを身につける。

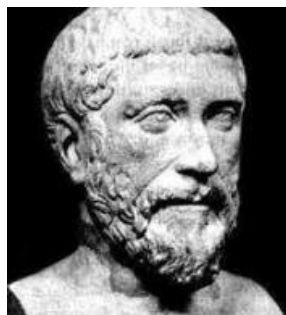
～ファシリテーション

ギリシャ時代 9人の賢人

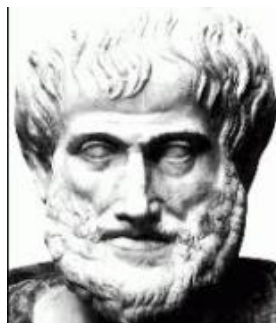
ご存じでしょうか？この方々



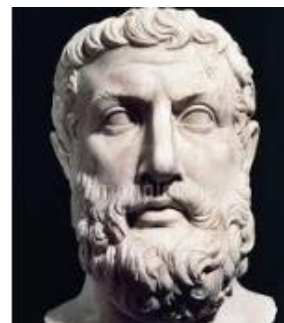
タレス



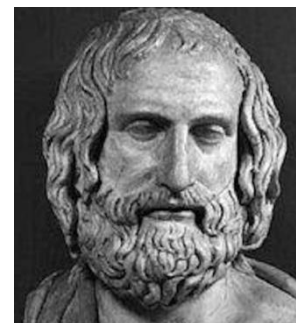
ピタゴラス



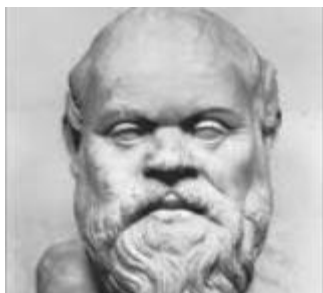
ヘラクレイトス



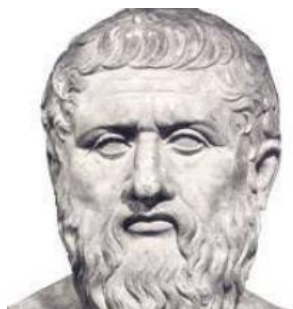
パルメディアス



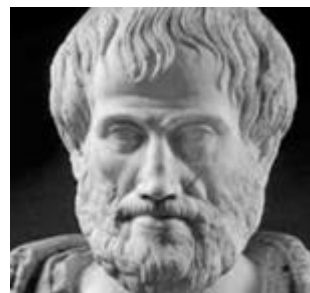
プロタゴラス



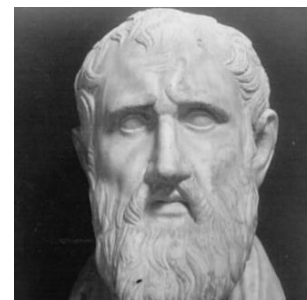
ソクラテス



プラトン



アリストテレス



ゼノン

アリストテレス 4因説

「万物の存在は、4つの要因で説明できる。」



「形相因」 車のカタチをしたもの

「質料因」 金属でできているもの

「目的因」 移動するためのもの

「作用因」 工場で作られたもの

コーチング・プレゼンテーション

「問題」とはそもそも何か、論理思考をはじめと
めとする問題解決法を一通り理解する。

～ロジカルシンキング

受け取る(聴く、読む)、届ける(話す・書く)
といった対話の基本スキルを磨き上げる。

～コーチング・プレゼンテーション

自発性、創造性を引き出すような会議の
場を企画進行するスキルを身につける。

～ファシリテーション

アドラー心理学

空前のベストセラーになった
「嫌われる勇氣」(岸見一郎 古賀史健著)
この本をきっかけに「アドラー心理学」が、
ビジネスマンの中でも大きな話題
となりました。アドラーの言う、
「目的論」と「原因論」。
その違いについて、ご自身で
調べ、当日説明できるように
しておいてください。

事前
課題



次回以降と2021年のご案内



みなさんからのご要望をお聞かせください

2020年		2021年(予定)	
12月6日(日) オンライン化がもたらした 教え方・学び方の変化	12月のテーマ 2020年を振り返り、 2021年の方針を決めよう！	第1週 日曜日	教える技術 基本編
12月13日(日) プログラムをオンライン化する 際の 研修企画のポイント		第2週 日曜日	エンタメ から学ぼう
12月20日(日) 5分ネタを、20つくって進め よう 出版への橋渡し		第3週 日曜日	教える技術 実践編
12月27日(日) カウントダウン！2021年 にむけて思いを語りあおう		第4週 日曜日	ビジネスを 学ぼう

1月のみ、第2, 3, 4, 5週で実施。

寺沢俊哉

公益財団法人 日本生産性本部 主席経営コンサルタント
テラメディア（株）代表取締役 ライブ講師®マスター
「ライブ講師®実践会」 <https://live5.jp>（メルマガ申込はこちらから）



大手流通系企業を経て、1989年、公益財団法人日本生産性本部にコンサルタント給費生として最年少で入社。以来、経営コンサルタントとして27年にわたり、上場企業から中堅企業まで約200社の経営コンサルティング、数万人の研修を実施。

コンサルティングと研修を融合させた、独自のワークショップは、参加者自身の課題を題材に進めるため実践的であり、リピート率は8割を超える。研修テーマは、「リーダーシップ」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」「研修講師養成」など。

1998年以降、卓越した企業を表彰する「日本経営品質賞」の審査員として経営品質向上プログラムの普及推進活動に従事している。

2015年より、「人前で教える技術」を磨きあう、「ライブ講師®実践会」を主催。数多くの講師、コンサル、ビジネスリーダーが参加し、ともに学びを続けている。



人前で話す・
教える技術
(生産性出版)



人材育成
(中央経済社)



感動の会議!
(ディスクカバー-21)